

むげん しょうじん
無間の精進 — 精進とねぎらいもてなし —

(三版)

しょうじんつと おこな
精進勤める行いは
ざつ しりぞ
雑にならずに退かず
すす せり
進むべきこと精ならん

もろもろ ぜんぼう おい
諸の善法に於て、
ごんしゆ むげん
勤修すること無間なり

せつさいりとな のち
設齋営みその後も
ひあい ささ ひとびと
悲哀を支えた人々に
ほねみ お はらから
骨身を惜しまぬ同胞に
とお ほうゆう
遠くを厭わぬ朋友に
かん
感じてもてなしいたすべし
しや
謝してねぎらいするべきぞ

いま むかし
今は昔のこととなり
いそが おな せき
忙しいゆえ同じ席
はんしょうじん くふうき
半精進なる工夫聞く
たと か しょうじんたも
例え兼ねるも精進保ち
おこ つつし わさま
行い慎み弁えん

しょうじん お
精進落とし？

宮城県大崎市 瑞川寺住職 木村謙文

けんぱい えんりよ
献杯は遠慮しましよ